

第6次小牧市総合計画 新基本計画

—『人と緑 かがやく創造のまち』の実現に向けて—

市長挨拶

本市は、平成21(2009)年3月に、平成21(2009)年度～30(2018)年度を計画期間とする「第6次小牧市総合計画」を策定し、“人と緑 かがやく創造のまち”を将来都市像に掲げ、今日までその実現に向け、まちづくりの各種施策を展開してまいりました。

この間、人口減少社会の到来、少子・高齢社会の進展、地球レベルでの環境問題の進行、情報技術を中心とする急速な技術革新など、本市を取り巻く社会情勢は大きく変化しています。

あわせて、地方分権の進展に伴って発生する新たな行政需要や、多様化している住民ニーズに対しても、新たな対応が求められています。

こうした状況を踏まえ、策定から5年が経過する基本計画について、これまでのまちづくりの検証を行い、社会情勢の変化で生じた新たな課題に挑戦していくために必要な施策を見直し、「第6次小牧市総合計画新基本計画」を策定しました。

この「新基本計画」は、市の将来人口が減少傾向に転じるという予測の下、従来に増して経営資源の有効活用を図る観点から、「分野別計画編」とは別に「市政戦略編」を策定し、市政の軸となる考え方や戦略を示し、それを実現するための重点事業が明確となるメリハリのついた計画とし、市民の皆様にとってわかりやすく、職員が業務の羅針盤として活用しやすい計画としています。

今後の5年間、この計画のもと、市民の皆様と一緒に将来をしっかりと見すえ、「住みたいまち、住み続けたいまち」の実現に取り組んでまいります。本計画の策定にあたりまして、ご尽力を賜りました総合計画審議会委員の皆様、市議会議員の皆様をはじめ、貴重なご意見、ご提言をいただきました市民の皆様へ深く感謝申し上げます。

平成26年3月 小牧市長 山下史守朗



地域ブランドコンセプト

ブランドコンセプト(目指すまちのイメージ)を『夢・チャレンジ 始まりの地 小牧』と定め、今後、『近世城郭のルーツ 信長の小牧山城』と『こども夢・チャレンジNo.1都市』を柱とした様々な事業を展開していくとともに、ロゴマークやキャッチフレーズを広く活用しながら、市の魅力を内外に積極的に発信します。

「夢・チャレンジ 始まりの地 小牧」

小牧山は、織田信長公が天下統一の夢を描き、そのチャレンジの第一歩として初めて城を築いた地。

わたしたちの掲げる「夢・チャレンジ」の象徴として相応しい地です。
小牧市は、その小牧山をみつめ、
これからの未来を担うこどもたちが、
夢を描き、挑戦していける地となれるよう全力を注ぎます。

こどもの夢への挑戦をまち全体で、みんなで応援する。
そのことが、世代を超えた市民のつながりを生み、
全ての市民が支え合っていけるまちづくりになると確信します。



キミと一緒に、育ってきたい。
Komaki

